

小山市長 令和2年10月13日 定例記者会見

1 開会

2 発表内容

- 1 小山市 シティプロモーション キャッチコピー募集・ロゴデザイン選定について
～市民から生まれる、新しい「小山市」のキャッチコピー・ロゴデザイン～
【秘書広報局 秘書広報課】
- 2 「(仮称)小山の魅力発信チーム」メンバー募集について
～女性の視点を活かし、チームで、新たなストーリーを創り、ブランドを育み、小山の魅力を発信します～
【秘書広報局 秘書広報課】
- 3 とちぎ高校生地域定着推進モデル事業について
～高校生の!高校生による!!おやま創り～
【総合政策部 総合政策課】
- 4 AI会議録作成支援システムの導入について
～AI音声認識技術の活用で会議録作成時間の50%削減へ～
【総務部 行政経営課】
- 5 「小山市相談支援包括推進員」の配置について
～包括的、総合的に相談支援をコーディネート～
【保健福祉部 福祉課】
- 6 「小山市ひきこもり相談支援室」の現状について
～ひきこもりで悩んでいらっしゃる方のご相談お待ちしております～
【保健福祉部 福祉課】
- 7 「第35回健康都市おやまフェスティバル」の開催について
～市民の健康と福祉のつどい～
【保健福祉部 健康増進課】
- 8 巡って買っておやまの農産物を応援!街巡り農業祭
～地産地消で小山を元気に～
【産業観光部 農政課】

3 閉会

記者会見資料

秘書広報局 秘書広報課

1. 件 名

小山市 シティプロモーション キャッチコピー募集・ロゴデザイン選定について
～市民から生まれる、新しい「小山市」のキャッチコピー・ロゴデザイン～

2. 内 容

小山市では、現在、「第2期小山市シティプロモーション5カ年計画」（計画期間：令和3年度～7年度）の策定に取り組んでいます。

この度、本計画の将来像である『市民が愛着と誇りを持ち、生き生きと暮らす「市民ひとりひとりが主役のまち」おやま』の実現に向けた第一歩として、市民が親しみ、愛着をもてるようなキャッチコピー＝ブランドメッセージとそれを具現化したロゴデザインを、市民から広く募り、選定いたします。

3. 募集するキャッチコピー＝ブランドメッセージおよびロゴデザインに求めるもの

- ・幅広い年齢層にとって分かりやすく、覚えやすく、使いやすいものであること
- ・市民が親しみ、愛着をもてるものであること
- ・小山市の未来、将来まちに関わるひとたちに向けたものであること

4. 募集方法

①キャッチコピー＝ブランドメッセージ

（1）10月13日（火）～11月27日（金） 市民からの公募

- ・原則、インターネット（かんたん申請システム）にて申込み

（URL：<http://www.task-aspc.net/cu/eg/lar092088.task?app=202000137>）

- ・市役所、各出張所において紙での受付も可能

- ・広報おやま11月号、市ホームページ、SNSによる周知

（2）12月 事務局による予備審査・審査会による選定（2～3案）

②ロゴデザイン

（1）上記①で選定されたキャッチコピーをもとに、デザイン案を2～3案作成

（2）1月中旬～2月中旬 市民投票による選定

5. 問合せ

小山市 秘書広報課 小山の魅力発信室（TEL：0285-22-9353）

記者会見資料

秘書広報局 秘書広報課

1. 件 名

「(仮称) 小山の魅力発信チーム」メンバーの募集について
～女性の視点を活かし、チームで、新たなストーリーを創り、ブランドを育み、
小山の魅力を発信します～

2. 内 容

小山市では、近年、若い女性の転出超過が継続しており、今後も人口減少による、まちの活力の低下をはじめとするマイナス面の影響が懸念されているところ
です。

このような状況を踏まえて、小山の魅力発信の原動力は「市民」であること、
そして、女性の発想や視点を活用したプロモーションが重要かつ効果的であると
の考えから、自分自身で事業を起こしたり、情報発信を展開している女性を中心
にした「(仮称) 小山の魅力発信チーム」のメンバーを募集します。

メンバー募集後、今年度は、チームを発足させ、小山の魅力を国内外に発信す
る各種事業を実施するための勉強会の開催、SNSによる情報発信などを行いま
す。将来的には、チームへの市民参加促進、市の魅力向上、関係人口の創出・拡
大による地域の活性化、そして地域資源・地域製品の付加価値を生み出し「稼ぐ
力」の創出を目指すものです。 ※令和2年度 地方創生推進交付金対象事業

3. 募集要件

- ①20 歳～40 歳代の女性
- ②小山市に在住、在勤、在学している方
- ③小山の魅力を伝えたい方

4. 募集方法

原則、インターネット（かんたん申請システム）にて申込み

(URL : <http://www.task-asp.net/cu/eg/lar092088.task?app=202000131>)

※市ホームページから申込書をダウンロードの上、秘書広報課に提出も可

※申し込み後は、簡単な審査の上、チームの活動に参加いただきます

5. 今後のスケジュール（予定）

- | | |
|-----------|---|
| 1 2 月 | チーム発足式
チームSNSアカウント開設 |
| 1 2 月～3 月 | 月1 回程度の勉強会・研修会の開催
ブランディングについての研修、事業構想・企画 |

6. 問合せ

小山市 秘書広報課 小山の魅力発信室 (TEL : 0285-22-9353)

記者会見資料

総合政策部 総合政策課

1. 件 名

とちぎ高校生地域定着推進モデル事業について
～高校生の！高校生による！！おやま創り～

2. 内 容

若年層が進学や就職をきっかけに東京圏へ流出することが、地方における人口減少の一つの要因となっています。そこで、高校生を中心とする若者が、在学中に身近な地域を知り、体験として意識にとどめることで、地域への愛着を高め、高校卒業後の地域への定着促進や、東京圏進学後における回帰（Ｕターン）へ繋げようと、展開していく事業です。

3. 対 象

市内在住の高校生および市内高等学校に通学する高校生（１・２年生）

4. 活動予定

- ・仲間づくり「他校生徒と交流しよう！」・地域を知る「おやまを探究しよう！」
- ・地域課題の抽出「おやまの困りごとは何だろう？」・課題解決の検討「おやまについて考えよう！」

5. コーディネーター

一般社団法人カゼトツチ 代表理事 古河 大輔 氏（小山市出身）

6. 周知方法

広報小山、市ホームページ、テレビおやま、SNS等にて発信

7. 参加申込み

11月30日（月）までに総合政策課へ

TEL：22-9218 市ホームページへリンクします➡



8. その他

当該事業は栃木県の「とちぎ高校生地域定着促進モデル事業補助金」を受けて実施するものです。（補助率：10／10）

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点および学校休業による高校生の授業の遅れを取り戻すことを優先することから、大幅なスケジュールの変更をする場合もあります。今後の予定につきましては、市ホームページにて更新していきます。

記者会見資料

総務部 行政経営課

1. 件 名

A I 会議録作成支援システムの導入について

～ A I 音声認識技術の活用で会議録作成時間の 50%削減へ～

2. 要 旨

会議録の作成には、作成の方法で違いがあるものの、一言一句文字起こしを行った場合、一般的に会議時間の 3 ～ 5 倍の時間がかかると言われています。また、会議によっては早急に会議録の提出を求められる場合もあり、職員の負担軽減は大きな課題になっていました。

この課題を解決し、業務の効率化を図るため、令和 2(2020)年 9 月 1 日から A I 音声認識技術を用いた富士通株式会社製の会議録作成支援システム「Zinrai TalkVisible」(ジンライ トークビジブル)を導入しました。このシステムは、汎用 I C レコーダー等で録音した音声データを A I が自動解析し、出力した会議録を簡易に再編集することができ、効率的に会議録作成作業ができるというもので、一般職員向けの導入としては、県内市では初となります。

3. 効果予測

導入の検討にあたり各所属に対し調査を行ったところ、54 課から、年間で計 425 の会議に利用したいと回答があり、その延べ会議時間は約 3,000 時間となりました。このうち、一言一句文字起こしを行う必要のある会議が約 1,000 時間あり、会議録の作成には会議時間の少なくとも 3 倍の 3,000 時間かかると推計され、概要のみの会議は約 2,000 時間で、作成には 1.5 倍の 3,000 時間、合計約 6,000 時間かかると推計されました。

このシステムを導入することにより、50%程度削減することも可能と見込んでおり、1 年間で約 3,000 時間、人件費に換算すると、およそ 700 万円を削減できると考えています。

4. 実施状況と今後について

導入後、9 月 15 日までの半月の利用状況を調査したところ、17 課、35 の会議、合計約 50 時間分の会議録作成に本システムが利用されました。利用開始直後の利用状況としてはまずまずの滑り出しでしたが、その一方で利用した職員に対して行ったアンケートには、うまく解析できなかったとの声もありました。

これは、録音音量が小さい等の理由で A I 解析がうまく機能しなかったことが原因と想定されるため、今後、録音機材や設置方法の改善などを図ってまいります。

5. 問合せ

小山市総務部 行政経営課 行政経営係 TEL0285-22-9312

記者会見資料

保健福祉部 福祉課

1. 件 名

「小山市相談支援包括推進員」の配置について
～包括的、総合的に相談支援をコーディネート～

2. 要 旨

近年の相談支援の現場では、いわゆる「^{はちまるごーまる}8050問題」などに代表されるような、一つの世帯の中で介護、医療、生活困窮など複合的な課題を抱えた相談が著しく増加しており、従来の分野別の相談支援体制では対応に限界があることから、国においても複合的で複雑な課題に柔軟に対応できる包括的な相談支援体制の整備を推奨しているところです。

そこで、本市におきましても、この相談支援体制づくりの一環として、分野別の相談支援機関を包括的につなぎ合わせ、支援をコーディネートする「相談支援包括推進員」を福祉課内に配置し、包括的、総合的な支援体制を構築してまいります。

3. 内 容

- (1) 配置人数 1名（会計年度任用職員）
- (2) 配置開始日 令和2（2020）年10月1日（木）
- (3) 主な職務内容
 - ・ 相談者やその世帯等が抱える課題の把握
 - ・ 分野別の相談支援機関等との連絡調整
 - ・ 支援の実施状況の把握及び支援内容の調整
 - ・ 総合的な相談支援に必要な知識の普及及び啓発 等

4. 問合せ

小山市保健福祉部 福祉課 福祉管理係 TEL0285－22－9612・9613

記者会見資料

保健福祉部 福祉課

1. 件 名

「小山市ひきこもり相談支援室」の現状について
～ひきこもりで悩んでいらっしゃる方のご相談お待ちしております～

2. 内 容

令和2(2020)年4月1日、小山市福祉課内にひきこもり支援に特化した相談窓口として「小山市ひきこもり相談支援室」が開設いたしました。現在、ひきこもり当事者やご家族の気持ちに寄り添いながら個別相談を行っており、利用者は徐々に増加しております。また、家族への情報提供や交流によるつながりを目指すセミナーやサロン事業を開始し個別相談利用者に参加していただいております。9月末をもって開所から半年が経過したことから、4月～9月の事業実績について報告いたします。今後も市民に広く周知し利用を促すとともに、相談支援体制の充実に努めてまいります。

3. 相談利用状況

○稼働日数 121日

○相談者数(実) 68人

○相談件数(延) 413件(月平均69件・1日平均3.4件)

4. 上半期事業実施状況

○家族セミナー前期分(1コース2日) 7/21・8/27 …別紙参照

○家族サロン(2回/月) 10/5 …別紙参照

○県子ども若者・ひきこもり総合相談センター「ポラリスとちぎ」による出張相談
(1回/月) 6/23・7/28・8/25・9/29

5. 今後の事業計画

○家族セミナー後期分(1コース2日) 1/12・2/9 …別紙参照

○家族サロン(1回/月)

11/2・12/7・1/7・2/1・3/1 …別紙参照

○県子ども若者・ひきこもり総合相談センター「ポラリスとちぎ」による出張相談
(1回/月) 実施予定

※当事者の居場所事業については現在検討中

6. 問合せ

小山市保健福祉部 福祉課 ひきこもり相談支援室 TEL0285-22-9858

記者会見資料

保健福祉部 健康増進課

1. 件 名

「第35回健康都市おやまフェスティバル」の開催について
～市民の健康と福祉のつどい～

2. 内 容

「健康都市おやま」の実現に向け、保健・医療・福祉の連携強化と市民の健康に対する意識の向上を図ることを目的に開催するものです。

3. 開催日

令和2(2020)年10月25日(日) 午前8時45分～正午

4. 会 場

健康医療介護総合支援センター（小山市大字神鳥谷2251-7）

5. 内 容

口腔がん検診、無料フッ素塗布、健康づくり市民公開講座、第19回おやま料理コンクール表彰式、新型コロナウイルス感染症、介護保険制度、認知症等に関する展示等

6. 参加者募集

- (1) 口腔がん検診（無料）【要事前申込み】（先着120名）

申込先 健康増進課 22-9522

- (2) 健康づくり市民公開講座（無料）【事前申込み】（先着50名）

「新型コロナ禍での健康管理について」

申込先 健康増進課 27-0500

- (3) 無料フッ素塗布「満3歳～小学2年生」

【要事前申込み】（10月12日～受付：先着200名）

申込先 健康増進課 22-9527

※昨今の新型コロナウイルスの動向を鑑み、規模・ブースの配置等を検討し、飛沫感染防止シートや手指消毒を徹底したうえ、3密を避ける工夫をしております。また、今後の状況次第では、中止させていただく場合もございます。

記者会見資料

産業観光部 農政課

1. 件 名

巡って買っておやまの農産物を応援！街巡り農業祭
～地産地消で小山を元気に～

2. 内 容

市内で生産される新鮮な農産物やその加工製品等を、広く市内外に紹介するとともに、小山の「農」の魅力と安全・安心な農産物をPRし、小山の農業の更なる振興を目的に、毎年11月上旬に小山総合公園駐車場にて「小山市農業祭」を開催していましたが、新型コロナウイルス感染症対策の3密を回避することが困難なことから、本年度の開催を断念いたしました。

しかし、消費が低迷する地場農畜産物の生産者を応援するため、市民の消費行動を促し、地産地消を推進することで地域経済に活力を取り戻すことを目的に、スタンプラリーで野菜の直売所をめぐる「街巡り 農業祭」を開催いたします。

3. 主催者

小山市農業祭実行委員会、小山農業協同組合、小山市地産地消・食育推進協議会

4. 開催期間

令和2(2020)年11月21日(土)～令和3(2021)年1月31日(日)

5. スタンプラリー対象直売所

- (1) 道の駅思川(小山市下国府塚)
- (2) 絹ふれあいの郷(小山市梁)
- (3) JAおやまグリーンセンター(小山市乙女)
- (4) JAおやまよらせ桑農産物直売所(小山市扶桑)

6. スタンプラリー賞品

- (1) パーフェクト賞 ※対象直売所4箇所すべて押印した方対象
 - 1) おやま和牛(10,000円相当)【10名様】
- (2) 地産地賞 ※応募者すべての方対象
 - 1) おやまの豚おとん(5,000円相当)【10名様】
 - 2) 小山産コシヒカリ【45名様】
 - 3) その他小山市の名産品【65名様】
- (3) JAおやま賞 ※応募者すべての方対象
 - 1) 小山市産旬の野菜【20名様】 など

7. その他

- (1) 農業祭恒例の優良農家等の表彰を11月18日(水)に本庁にて実施予定